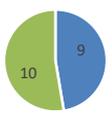
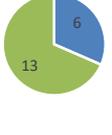
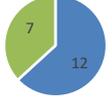
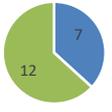
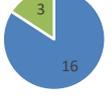
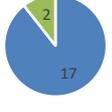
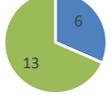
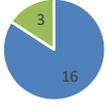


令和2年度 兵庫県立こぼと聴覚特別支援学校 各部重点目標

- (ア) 聴覚に障害のある幼児の総合的な発達を促すための教育的支援を行う。
- (イ) 幼児の発達と聴覚障害の特性に配慮しながら一人一人のニーズに応じた教育を行い、幼児の個性と能力の伸長を目指す。
- (ウ) 愛情に満ち心の通い合う育児が行えるよう、保護者の支援を行う。
- (エ) 聴覚学習を通して個に応じた聴覚の活用を促しつつ、視覚情報も効果的に取り入れてコミュニケーション活動を活発にし、幼児が基礎的な言語を獲得できるようにする。
- (オ) 豊かな生活体験を通して基本的な生活習慣の確立をはかり、幼児自身が直面するであろう障害に基づく困難を乗り越え、自立し社会参加できる将来像へと導く。
- (カ) 地域におけるセンター的機能と聴覚障害児教育への理解・啓発を図るとともに、開かれた学校づくりを推進する。

自己評価基準 A 達成している ■ B おおむね達成している ■ C あまり達成していない ■ D 達成していない ■

学部・分掌	学校経営の重点		評価		
	各部の実践目標	成果と課題	各部評価	校内評価	校内評価
保育相談部	(ウ) 愛情に満ち心の通い合う育児が行えるよう、保護者の支援を行う。				
	野菜の栽培・収穫や身近な生き物の飼育等を積極的に保育に取り入れることで、親子と一緒に自然に触れる体験を増やし、幼児のコミュニケーション意欲や主体的に物事に関わりようとする力を育む。	ザリガニや金魚の飼育、畑での野菜の収穫等、今年度は例年以上に幼児が自然に触れることができる保育を実施した。親子が様々な体験を共有し、話をするきっかけとなった。	A	A	
幼稚部	(ア) 聴覚に障害のある幼児の総合的な発達を促すための教育的支援を行う。				
	保護者と離れて活動する子どもを増やすことで、自ら考え、取り組み、相手に伝えようとする力を伸ばす。自分の力でやり遂げたという達成感と自信を深められるように、適切な支援を行う。	今年度は感染症対策により基本子どもデーとなったが、子どもが自分から友達に働きかけたり、保護者にその日の出来事を積極的に伝えたりする姿が以前より増え、成長が見られた。家庭での親子のやりとりにつながるように、記録や写真等で保育の様子を伝えるようにした。	A	A	
総務部	(ア) 聴覚に障害のある幼児の総合的な発達を促すための教育的支援を行う。				
	学校における儀式、行事等の立案に関しては、文化的教育・防災教育を中心に、可能なかぎり幼児の発達にあった体験活動が行えるよう計画し、スムーズな運営ができるよう関係部間との連絡調整に努める。	感染症対策が求められるなか、可能なかぎり幼児の発達にあわせた体験活動が行えるよう行事等の内容を検討し実施した。実施内容を見直し次年度につなげたい。	B	B	
教務部	(イ) 幼児の発達と聴覚障害の特性に配慮しながら一人一人のニーズに応じた教育を行い、幼児の個性と能力の伸長を目指す。				
	・全教員に『道徳教育全体計画』を配布し、教育課程や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」も含めて説明を行い、個別の指導計画のねらいや内容に反映させていく。 ・今年度新様式となった保育相談部の個別の指導計画について、作成から評価・改善までの手順や内容をまとめ、指導に生かせるようにしていく。	・学習指導要領改訂に伴う道徳教育に関する説明及び、本校における道徳教育の扱いについて資料配布の上、全教員に説明を行った。道徳教育のねらいを考慮して個別の指導計画を作成し、指導する際に意識できた。 ・個別の指導計画のねらいと日々の保育記録を関連付けることで一人一人の指導目標が明確になり、ねらいを意識した指導、懇談等における保護者支援の充実につながった。	A	A	
相談センター部	(カ) 地域におけるセンター的機能と聴覚障害児教育への理解・啓発を図るとともに、開かれた学校づくりを推進する。				
	昨年度実施した難聴児の聴覚発達の確認に加え、言語発達についても指標を用いた確認を行い、難聴児の早期支援の充実を図る。	聴覚発達とあわせて言語発達についても指標を用いて評価を行った。新たに行った言語発達の評価については、評価対象者が少数であった。今後引き続きそれぞれの発達について評価を行い、充実した支援につなげたい。	B	B	

研究部	(イ) 幼児の発達と聴覚障害の特性に配慮しながら一人一人のニーズに応じた教育を行い、幼児の個性と能力の伸長を目指す。				
	子どもの発達や障害を理解し、個性を認め、幼児それぞれの能力をより伸ばせるような支援の在り方について各部で協議し、実践に生かすことで教員全体の専門性の向上を目指す。	幼稚園は発音指導について、動画を見て幼児の成長や支援について協議し、その後の発音の個別指導や発音遊びに活かした。保育相談部はクラスの枠を越えて担任が入れ替わり保育を行うことで、幼児の発達の特徴について学んだ。	A	A	
生活・保健部	(ア) 聴覚に障害のある幼児の総合的な発達を促すための教育的支援を行う。				
	望ましい食習慣の形成を目指し、幼児の食に関する興味や関心を育てるため、季節や行事に配慮した給食を実施したり、野菜等の栽培活動を行う。	季節や行事への配慮や、兵庫県産の食材を使用した給食の実施や野菜等を栽培することで、食べるものに興味を持つようになったようだ。また、臨時休業中はオンライン保育、学校再開後は玄関掲示を活用し、幼児や保護者に対し畑の様子や注意事項、親子のやりとりのヒント等を発信した。	B	B	
	幼児玄関に、親子で一緒に見て話ができるように各クラスの保育場面写真を掲示し、自分の経験を振り返るだけでなく、他のクラスの保育の様子を知る機会とする。また、掲示の目的について保護者に伝える。	各クラスとも保育場面の写真を毎月2枚程度更新しながら掲示することができた。今年度は幼稚園部の保護者が保育を参観する機会が減ったため、保育の様子を知る機会の一つとして活用されていた。	A	A	
	(オ) 豊かな生活体験を通して基本的な生活習慣の確立をはかり、幼児自身が直面するであろう障害に基づく困難を乗り越え、自立し社会参加できる将来像へと導く。				
	交通安全教室や日々の交通安全指導を行うことにより、事故を未然に防ぐための安全な方法について幼児に理解を促す。	交通安全教室を実施したことで、横断歩道の渡り方や信号機の見方について学べた。指導後、登下校時に校内の横断歩道を渡る際、親子で信号の色や左右の確認ができた。	A	A	
幼児期の健康について(感染症の予防、弱視の予防、歯と口の健康、基本的な生活習慣) 学校医、家庭と連携し、幼児の健やかな成長・発育を促す。	感染予防について幼児の発達段階により保健教育を行い、各場面ごとに手洗い習慣を身につけることができた。	B	A		
情報部	(エ) 聴覚学習を通して個に応じた聴覚の活用を促しつつ、視覚情報も効果的に取り入れてコミュニケーション活動を活発にし、幼児が基礎的な言語を獲得できるようにする。				
	図書室前に、季節や行事に関する絵本を掲示することで、子どもたちの絵本への興味を広げる。また、子どもが興味をもった絵本についてのアンケートを実施し、図書日より等で紹介することで、絵本選びの参考にしてもらう。	季節や行事に関する絵本を図書室前に掲示した。アンケート結果は、集計後図書日よりに掲載した。また、幼児が借りやすいように、図書室の絵本の在庫を季節ごとやジャンルごとに分けて整理した。	B	A	
	(エ) 聴覚学習を通して個に応じた聴覚の活用を促しつつ、視覚情報も効果的に取り入れてコミュニケーション活動を活発にし、幼児が基礎的な言語を獲得できるようにする。				
今年度は「パソコン困り事ヘルプ窓口」を設置し、担当者2名が、PCソフトウェアの使い方やその他の機器の操作等の疑問に個別に対応することで、ICT活用能力の向上を図る。	日々の業務の中でパソコンやその他のICT機器の操作について質問があった時には、すぐに対応し回答をするようにした。担当者が分からない場合も、調べて解決策を提示するようになった。	B	B		
自立活動部	(イ) 幼児の発達と聴覚障害の特性に配慮しながら一人一人のニーズに応じた教育を行い、幼児の個性と能力の伸長を目指す。				
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の発音の実態に合わせて、楽しみながら意欲的に取り組めるような発音個別を行う。また聴能担当やクラス担任との連携を深め、生活の中にも発音練習を取り入れ、確実な定着を目指す。 体を動かしながら音やリズムを楽しむ中で、個々の実態に合わせて聴覚の活用を促す。 聴能個別の時間等を利用し聴能評価を行い、担任や発音担当者と情報を共有し、適切な支援につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音個別では子どもの思いを大切にしながら大いに誉め、1音ずつ丁寧な指導を行なった。 音楽リズムのピアノに合わせて身体を動かす活動では幼児の実態に合わせて和太鼓やオントナを取り入れた。 聴力測定や語音検査などを行い、担任や発音担当と情報を共有することができた。 	A	A	

令和2年度 学校評価・保護者アンケート

評価5…よくできていた（そう思う）

評価4…おおむねできていた（大体そう思う）

評価2…あまりできていなかった（あまりそう思わない）

評価1…全くできていない（そう思わない）

※評価（1～5）のあてはまるところに○を入れてください。

実践分野		具体的な実践内容	評 価
開かれた学校	1	担任から配付される週予定・月予定・お便り・毎日の子どもデーの記録や写真等を通して必要な情報を得ることができ、学校生活の様子がよくわかった。	4.7
幼児教育	2	教育（保育）内容は、生活体験や遊びに基づいており、幼児は生き生きと活動していた。	5.0
食に関する指導 食育	3	幼児が食への関心や知識が高められるように、季節感や行事に配慮した給食（幼稚部）、栽培活動など食に関する体験的な活動が実施されていた。	4.7
生活	4	幼児が季節感を感じられるよう、工夫した壁面や装飾、他のクラスの保育の様子が分かる掲示がされていた。	4.9
危機管理	5	交通安全指導や各種避難訓練などを通して、幼児が安全安心に過ごせる環境づくりがなされていた。	4.7
健康教育	6	健康な生活、健やかな発育に必要な知識や意識を身につけられるよう、学校医と連携して保健の取り組みがなされていた。	4.5
人権意識	7	教職員は幼児一人一人を大切にし、尊重した言葉がけや対応が見られた。	5.0
保護者研修	8	聴覚障害の理解を深める研修、幼児期の発達理解や聴覚障害児の将来像等の研修など、保護者のニーズに応じた研修が行われた。	4.1
図書の活用	9	読書活動の充実（絵本の購入、図書室の整理、お便りや掲示板での本の紹介など）が図られ、絵本の読み聞かせなど図書の活用がなされていた。	4.5
特別支援教育 自立活動	10	個に応じてきこえや補聴への支援や助言、補聴機器に関する情報提供があった。	4.3
特別支援教育 自立活動	11	スピーカーや補聴援助システム（ロジャー）等を利用するなどして、幼児一人一人の聞こえに配慮した保育がなされていた。	4.8
特別支援教育 自立活動	12	個別保育（発音指導・音楽リズムを含む）は、幼児の課題が明確にされ、保護者にも共有されており、課題解決へ向かう保育がなされていた。	4.8
特別支援教育 個に応じた教育	13	グループ保育や個別保育は、幼児の実態・特性・発達に応じたコミュニケーション手段を使用し、教材や教具などを工夫して実施されていた。	4.9
評価	14	個別の指導計画に基づいた「あおぞら」や「まなざし」の評価は、適切でわかりやすいものだった。	4.5
保育相談部の教育	15	（保育相談部のみお答えください。） 身近な生き物との触れ合いや野菜の収穫を通して、親子で自然や環境に興味・関心を持てるような保育が実施されていた。	5.0
保育相談部の教育	16	（保育相談部のみお答えください。） 保護者研修を通して、専門的な知識を学んだり、保護者同士が情報交換したりする場が提供されていた。	4.5
幼稚部の教育	17	（幼稚部のみお答えください。）花・野菜の栽培と収穫、昆虫の飼育や観察、季節を味わう活動（松ぼっくり拾い、年賀状等）、ごっこ遊び（お店屋さんごっこ等）など様々な体験を通して、幼児が主体的に取り組む意欲や伝える力、やり取りする力の伸長が図られていた。	4.9
幼稚部の教育	18	（幼稚部のみお答えください。）なかよしあそびの時間を活用して、学年の枠をこえてルールのある遊び（転がしドッジ、鬼ごっこ等）に取り組み、異年齢の友だちと関わる姿、まわりの友だちを見て動く姿、身体を動かすことを楽しむ姿が見られた。	5.0

<以下記述欄>上記の評価とした理由等をお書きください。

- ・保護者同士の（幼稚部と保育相談部）の交流の場がもっとあればうれしい（保）
- ・生活に密着した体験活動、保育を盛り込んでくださり、とても参考になった。子供も家庭でこばとで学んだことをしっかり反芻し、毎月保育内容を踏まえた目標ができてよかった（保）
- ・季節事の行事等に合わせて、家ではなかなかできないことをやったださるので、親子で楽しんでいます。個別保育の日は子供の様子をみてのびのびと保育を進めてくださるので、いつもさすがだなあと感じています（保）
- ・日々の先生方のお姿や、子供の成長を見るにつけ、学校や先生方のご努力、環境、個々にあった保育や指導を十分に感じることができています（幼）
- ・非常に手厚い対応をしていただき、いつも感謝しています（幼）
- ・いつもありがとうございます。親も子育てや教育に関して学ぶことばかりで感謝しかないです。子供はこばとに通えて幸せだと思います（幼）
- ・保護者研修について、各々の年齢で毎年同じことを聞くことも、違う見方が（各年で）できるのですが、もう少し違いがあればもっと今後について考えやすいと思います。その時々で悩みや課題が違ってくるので、せっかく研修いただけるのであれば、もう少し保護者の思いに沿ったものがあれば大変ありがたく思います（幼）
- ・本当にいつも手厚い指導をしていただいていると思います。ありがとうございます（幼）
- ・コロナの影響により左右されている評価もあると思います（制限などが増えたので）（幼）
- ・コロナ対策でやむを得ないこととはわかっていつつも、こばとの卒業生のお母さんの話や外の難聴学級、支援学校の話聞く機会が欲しいなあと切に願います（幼）
- ・コロナウイルスの影響があるので、去年とは少し違うな～と思いました（幼）
- ・子供の個性をよく見て、丁寧に対応してくださってありがたいです。ちょっとしたことでも、共有してくださるので、こどもデーが多くても安心できます（幼）